

使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む新会社

「株式会社アールプラスジャパン」設立

— 業界を超えた12社による共同出資会社 —

— 米国バイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社の技術を活用し、
環境負荷の少ない効率的なプラスチック再資源化技術の開発に挑戦 —



(株)フジシールは、サントリーMONOZUKURI エキスパート(株)、東洋紡(株)、レンゴー(株)、東洋製罐グループホールディングス(株)、J&T 環境(株)、アサヒグループホールディングス(株)、岩谷産業(株)、大日本印刷(株)、凸版印刷(株)、北海製罐(株)、(株)吉野工業所のプラスチックのサプライチェーンを構成する12社で、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック課題解決に貢献すべく、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社、株式会社アールプラスジャパン(代表取締役社長：横井恒彦 所在地：東京都港区)を設立し、6月から事業を開始しました。

今後も(株)アールプラスジャパンは広く出資を募る予定です。現在、住友化学(株)なども出資への検討を進めています。

フジシールグループは「包んで<価値>を日々新たな心で<創造>します」を経営理念とし、より良い社会の形成と企業の持続可能な発展のため、ESGへの取り組みを強化しています。

特に環境問題が人類の重要課題であることを認識し、環境側面を考慮したものづくりを目指した創造とチャレンジを行い、シュリンクラベル、タックラベル、パウチ容器、包材関連機械等の製品を通じて環境・社会への貢献を目指しています。また、生産において排出される産業廃棄物、廃液、VOCや温室効果ガスを削減し、環境影響を少なくするための活動も実施しています。

フジシールグループでは、気候変動・資源の持続性・海洋プラ問題などの環境負荷低減を行うための具体的な取り組みとして、使用材料の削減や分別しやすい包材設計による容器リサイクルへの貢献、バイオマス・再生材の活用、エネルギー使用を削減した機器設計など「3R+Renewable」およびCO2削減取組みを実施してきました。

今後は、包材そのものも資源循環されるように、「Recyclable(再生可能)」にすることが重要だと考えており、製造プロセスにおける廃棄物や使用済み包材の再資源化を可能とする本共同出資事業は、資源の枯渇を防ぐと同時に、海・陸の豊かさを守る取組みの一つとして位置付けています。

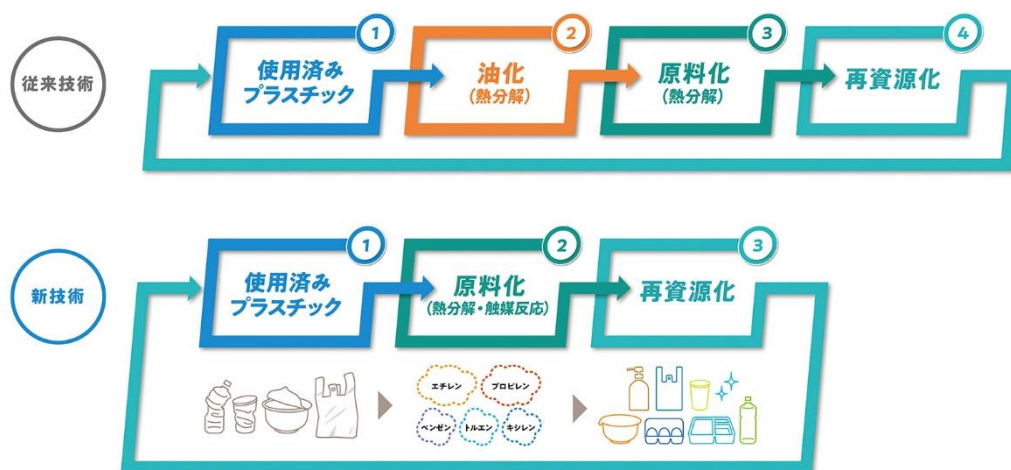
●使用済みプラスチックの再資源化技術について

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼^{※1}されていると言われています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料（ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど）に戻すケミカルリサイクル^{※2}の技術です。

従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO2排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー（熱利用）を含む

※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



今回設立した(株)アールプラスジャパンは、アネロテック社とともに、この環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指していきます。

●会社概要

- ▼会社名 株式会社アールプラスジャパン
- ▼事業開始 2020年6月5日
- ▼本社所在地 東京都港区台場2-3-3
- ▼代表取締役社長 横井恒彦
- ▼事業内容 使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

●アネロテック社 (Anellotech Inc.) について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術開発を進めている。

以 上